



関市板取の「杉林」



■会 長 加藤照彦 ■副会長 西田泰幸 ■幹 事 伊佐治啓司



関市民 1000 人が参加して創りあげた
シャインカービンアート『関二鳥』

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーテーマ

『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』 SERVE TO CHANGE LIVES

RI 会長：シェカール・メータ

関ロータリークラブ会長テーマ

『和衷協同』 56 代会長：加藤照彦



本日のプログラム

第 2612 回例会 2021 年 11 月 9 日 (火)

「米山奨学生スピーチ」

米山奨学生 王煜妍様

前例会の記録

第 2611 回例会 10 月 26 日 (火) 12 : 30

「最新の新型コロナウイルス感染症情報」

R 情報委員長 藤井淳会員 ※オンライン例会

◆開会点鐘

◆会長挨拶



9 月 30 日に緊急事態宣言が解除されて 1 ヶ月弱になります。若干の感染者は出ていますが、一応今日で zoom 例会は最後にさせて頂き、次回から大垣共立銀行 2 階例会場にて開催させて頂きます。弁当を用意してお待ちしていますので、ご出席頂きますようお願い致します。Zoom 例会最終日の今日は、締め

の卓話として藤井先生からコロナウイルスの最新情報をいただきます。藤井先生宜しく願いいたします。

2020 年 1 月に新型コロナウイルス発生以来、1 年 10 ヶ月が経過し、未だに様々な業種に影響が続いています。中でも「コロナ対人 4 業種 (宿泊業・飲食サービス業・娯楽業・生活関連サービス業)」においては、人々の外出などの活動が依然として低迷しているため、売上減少に歯止めがかかっていない状況にあります。今日は、建設業に関わる影響をお伝えしたいと思います。過去にオイルショック、リーマンショックなどありましたが、建設業は様々な業種の中でも「一番最後に影響が出てくる」というデー

タがあります。その理由として今回のコロナ禍で見ると、2020 年の新型コロナウイルス発生時点では、その年に施工する工事の受注が終わっている事があげられます。その為、製造業や販売業に影響が出た後になります。今回この典型的なものとして大きく影響したのが、今話題になっている「ウッドショック」です。これは、新型コロナウイルス感染による影響でアメリカでは住宅建設が一時期落ち込みましたが、2020 年 5 月のロックダウン解除後から、住宅建築需要が増加し、7 月頃からその動きは顕著になり、現在では住宅建築許可件数を高い水準を維持しています。これは、膨大な財政出動や低金利政策が取られた結果、アメリカではリモートワークで自宅にこもるようになった市民が住宅を郊外に新しく購入したり、リフォームを行ったりする流れが進んだ事により、需要が大幅に増えました。その結果、もともと虫害や山火事等で原料が不足しているうえに、コロナで製材所の休業を余儀なくされた中にその動きが加わり、世界では建築用木材需要が増えた結果、木材価格の高騰が引き起こされ、その影響が日本にも及んでいます。コロナ禍以前と比べるとピーク時で m²単価が約 1.5 倍、物によっては 3.8 倍まで高騰した物もあります。日本の住宅建築に使われる木材の 7 割が輸入材であることから、今回の輸入材高騰をきっかけに国産材への切り替えを進めていくべきという意見もありますが、国内林業は労働力不足、市場価格が維持できない等の構造的な問題や、国産材の性能では代替出来ないなど、簡単に国産材の供給を増やすことが難しいという課題を抱えています。今回のウッドショックは一時的な現象との見方もありますが、国産材に注目が集まっている好機をどのように活かすのか、対策に注目したいと思います。今年の 5 月には、中国で便器

の生産が止まり、半導体クライシス（台湾が起点）によって今や必需品のエアコンが発注困難になり、先日 白田国際奉仕委員長が発表されたベトナムのロックダウンにより日本企業の TOTO、LIXIL の工場生産がストップされウォシュレット等が発注から入荷まで 5~6 ヶ月かかるなど、一部の例をあげてみましたが、建築は数百数千ものパーツを組み合わせて施工して行きます。このように建設業への影響は、始まったばかりなのです。

◆「最新の新型コロナウイルス感染症情報」

ロータリー情報委員長 藤井淳会員



関市では新型コロナウイルスワクチンの摂取率が非常に高く、12 歳以上の全接種対象者の接種率は 10/25 現在 1 回目 86.1%、2 回目 82.3%にのぼっています。新型コロナウイルスワクチンの有効率ですが、1 回接種で接種後 13 日まで 17%、14 日以降 48%、2 回接種では 14 日以降 95%と、やはり 2 回接種 2 週間以降の有効率が高くなっております。しかし有効率 100%ではなくご存知のようにブレイクスルー感染も認めます。ワクチンは重症化防止に有効ですので、高齢者や持病のある方はワクチン接種をお勧めします。高齢者の死亡率は未接種者が 4.31%、1 回接種で 3.03%、2 回接種では 0.89%まで低下します。ニューイングランドジャーナル 9/15 に掲載されたアメリカの研究ではワクチン接種 6 ヶ月後の効果が検証され、発症予防効果は接種 2 ヶ月未満で 96.2%、2~4 ヶ月後 90.1%、4 ヶ月後 83.7%と低下していましたが、重症化予防率は 96.7%と高い水準のままです。いずれにしてもワクチン接種をしても感染リスクが 0 にはならないので、ワクチンを打った後もマスク、手洗い、密を避けるなどの感染対策バンドルを施行すると感染リスクを減らすことが出来ます。コロナワクチン接種 2 回後に新型コロナウイルスに感染することをブレイクスルー感染と言います。イギリスのランセット・インフェクシャス・ディーズに掲載された論文を紹介します。調査対象はイギリスで、124 万例が 1 回以上接種、97 万例が 2 回のワクチン接種をした人を調査したところ、1 回接種後の感染 6030 例 0.5%、2 回接種後の感染 2370 例 0.2%でした。ブレイクスルー感染のリスク因子ですが、65 歳以上の高齢者ではフレイル（寝たきりに近い人）、腎機能障害、肺疾患、心臓疾患、貧困層地域が上げられています。非肥満者（BMI30 未満）は肥満者（BMI30 以上）に対して感染率が少ないと言う結果でした。ブレイクスルー感染では入院、重症化のリスクは少な

いようですし、症状もワクチン未接種者と比べて軽減されるようです。関市は他の多くの市町村同様にコロナワクチンの 3 回目の接種（追加接種）を行う予定です。対象は 2 回接種済みの方で 2 回目終了から概ね 8 ヶ月以上後に予定しています。イスラエルでは、3 回目以降の追加接種を 8 月から 60 歳以上を対象に始め、12 歳以上に広げました。フランスやドイツなどは、高齢者らを対象とし、若い健康な人には接種していません。米国のバイデン大統領は、全国民に 3 回目接種を 9 月から行う方針を表明しました。ただ米食品医薬品局（FDA）の幹部らが「一般の健康な人も対象にするべきだと言える科学的根拠はまだない」との論文を発表するなど、身内からも異論が出ています。全ての人に追加接種が必要かどうかは専門家の間でも議論が分かれています。さらに感染や発症、重症化を防ぐワクチンの効果が全て弱まっていくわけではないとの指摘もあります。結局、FDA と接種の指針を示す米疾病対策センター（CDC）は、有効性や安全性のデータが不足しているとして、高齢者や重症化リスクの高い人らに限定して追加接種を承認しました。一方日本の厚労省は、2 回目の接種から 8 カ月以上経過している医療従事者や高齢者から順番に 12 歳以上の国民全員に追加接種を行う方針です。ただこの「8 カ月」という間隔に科学的根拠はないとのこと。このため 3 回目接種に関しては今後の動向を注視して判断するのが良策だと個人的には考えております。

◆第 2 回関ロータリークラブ旗争奪関市中学生 野球大会開幕（10/16：十六所グラウンド）



加藤会長による始球式

◆幹事報告

◎東海北陸道グループ IM のご案内

日時：2021 年 11 月 28 日（日）14：00

場所：みのエネプラザ

次例会のご案内 11 月 16 日（火）12：30

「ロータリー財団 地区補助金について」

堀部哲夫会員・酒井泉会員・長尾一郎会員